

2025 年度 博士留学奨学金 募集要項

本奨学金は、ドイツまたは日本の大学・研究機関において博士号取得を目指す者を対象に、博士号取得のためのドイツ留学を支援するものである。

ドイツで博士号を取得する場合は、[Forschungsstipendien – Promotionen in Deutschland \(Research Grants – Doctoral Programmes in Germany\)](#)、

日独の両指導教官の了解のもとで、一定期間ドイツに滞在しつつ最終的に日本で博士号を取得する (Bi-national)、あるいは大学間の共同論文指導契約に基づき、日独両大学の名義で授与される博士号を取得する (Cotutelle) 場合は、[Forschungsstipendien – Bi-national betreute Promotion / Cotutelle \(Research Grants – Binationally Supervised Doctoral Degrees / Cotutelle\)](#)

に応募すること。

1. 応募資格

- 応募時点において、以下の規定を満たす者。
 - 最終学位取得から 6 年以内である。
 - 博士後期課程に在学中の場合、進学より 3 年以内である。
 - ドイツ在住の場合、応募時点から遡って 15 か月以上ドイツに滞在していない。過去の通算ドイツ滞在期間は問われない。
- 奨学金受給期間中にドイツ以外の国に滞在する予定がある場合、以下の条件が満たされていること。
 - その滞在が博士号取得のために不可欠であること。
 - 滞在地が日本でないこと。
 - 滞在期間が、奨学金受給期間全体の 25% を超えないこと。
 - 応募書類の研究計画書およびタイムスケジュールに、国外の滞在が明記されていること。
- 医学分野 (人間医学、歯学、獣医学) での応募者は、[“Zusätzliche Hinweise / Additional Information”](#) を参照すること。

2. 給付期間

- ドイツで博士号を取得する場合: 最長 48 か月。まず 12 か月の給付が行われ、その後 1 年ごとに給付の延長が審査される。
- Bi-national / Cotutelle の場合: 7~24 か月。
 - Bi-national の場合: まず最大 12 か月の給付が行われ、その期間の研究成果に基づいて残りの期間の給付の延長が決定される。
 - Cotutelle の場合: まず最大 18 か月の給付が行われる。その後最大 6 か月の延長が可能。
 - 研究計画に応じて、複数の期間に分けて奨学金を受給することも可能である。

3. 給付内容

- 毎月 1,300€ (ドイツ滞在中のみ)
- 健康・傷害・個人賠償責任保険
- 旅費補助 (滞在が 12 か月以下であれば 2,100€, 13 か月以上であれば 1,600€)
- 研究補助費、毎年 460€
- 状況に応じて、家賃補助、家族手当、疾病手当などが給付されることもある。
- ドイツ語学習補助
 - 奨学金給付決定後、渡独までに参加できるオンラインドイツ語コース
 - 奨学金受給開始前に付与される、2~6 か月間の現地での語学研修
 - 奨学金受給期間中に参加するドイツ語コースの一部費用
 - TestDaF または DSH の受験料
- (Bi-national / Cotutelle の場合) 指導教官が、以下の目的で 10 日以下の滞在をするための費用

- 日本側の指導教官が、奨学生の研究の進捗を確認するために渡独する。
- ドイツ側の指導教官が、奨学生の卒業試験に参加するために来日する。

4. 応募方法・書類

応募は全て [DAAD ポータル](#) で行う。ドイツ語または英語の募集要項内のリンク (Zum Bewerbungsportal / To the application portal) から飛ぶと、自動的に本プログラムが選択される。応募者はポータルから申請書をダウンロードおよび記入し、下記の必要書類と併せてポータルに再アップロードする。応募が完了すると、提出した書類が一つの PDF データ (Bewerbungszusammenfassung / Application Summary) として送られてくるので、これを印刷の上、[和文申請書](#) (と場合によっては推薦状) とともに DAAD 東京事務所に郵送すること。和文申請書以外の書類はすべてドイツ語または英語で作成すること。

DAAD ポータル上での提出書類(特に指定がない場合、書類の書式は自由である)

- **申請書**: DAAD ポータルからダウンロードし記入して作成する。
- **履歴書** (3 ページ以内)
- ある場合は、**出版物リスト** (10 ページ以内)
- **動機文** (2 ページ以内): ドイツでの研究滞在に関する専門的および個人的な動機を記したもの。
[Wichtige Hinweise](#) / [Important Information](#) B-1 を参照すること。
- **研究計画書** (10 ページ以内): これまでの研究内容を含む詳細な計画書を応募者自身で作成すること。
[Wichtige Hinweise](#) / [Important Information](#) B-2 を参照すること。
- **受入承諾書または入学許可書**
 - 指導教員の指導のもとで博士号取得を目指す場合 (individual PhD): ドイツの指導教員の同意を得た **タイムスケジュール** および **受入承諾書**。[Wichtige Hinweise](#) / [Important Information](#) C-3 を参照すること。
 - ドイツの博士号取得プログラムの枠組み内で博士号取得を目指す場合 (structured doctoral programme): プログラムの **モジュールプラン**、**コーディネーターとのやり取りを証明する書類** (メールのコピーでも可)、**入学許可書**。応募時点で入学許可が下りていない場合は、奨学金受給開始までに提出すること。
 - Cotutelle の場合: **日本の大学とドイツの大学の間で結ばれている個別契約を示す書類**を提出すること。
- **大学の全課程の修了証明書**: 応募時点で在学中かつ奨学金受給開始までに課程を修了する予定の者は、在学証明書あるいは終了見込み証明書を提出の上、入手し次第修了証明書を追加提出すること。
- 在学中の課程も含む、**大学の全課程の成績証明書**
- **語学能力証明書**: 研究の遂行に問題がない語学力を有する証明書を提出すること。スコアの基準はない。
[Wichtige Hinweise](#) / [Important Information](#) A-9 を参照すること。
- **推薦状**: DAAD ポータルからフォーマットを取得可能。ポータル内の Gutachten anfordern / Request reference から必要事項を入力して PDF フォーマットを作成する。そのデータを推薦者にメールで送り、記入および署名してもらった後、応募者自身でアップロードする。推薦者は、応募者の研究内容および人物についてよく知る大学教員であること。
- その他、応募者がプラスになると判断する書類: ドイツ語または英語での発行が難しい場合、応募者による翻訳でも可。その場合には、応募者が自身で翻訳した旨を必ず記載し、併せて日本語の原本も提出すること。

DAAD 東京事務所への郵送書類

- [和文申請書](#)
- 応募書類一覧 (Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary) I 部
- 推薦状: 推薦者による厳封指示があり、応募者自身でアップロードができない場合。

郵送書類提出先(持ち込み不可)

〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館 1F
ドイツ学術交流会 (DAAD) 東京事務所 奨学金担当 宛

応募期限(郵送書類は消印有効)

2024 年 10 月 21 日

(当日、中央ヨーロッパ標準時 (MEZ) 24 時を過ぎるとポータルが閉鎖され、すべての応募が不可能になる。期日までに必ずポータル上での応募を完了させること。)

5. 選考

- 審査は専門家による独立した選考委員会によって行われる。
- 書類のみによって一次選考を行う。結果は 12 月中旬に DAAD ポータル上で通知される。
- 一次選考の通過者に対して、1 月中旬にハイブリッド形式による面接二次選考を行う。試験の言語は英語またはドイツ語。面接の日時等の詳細は、一次選考の結果と併せて通知される。
- 二次選考を踏まえた最終結果は、翌年 4 月頃に DAAD ポータル上で通知される。

6. 注意事項

- 特に指定がない場合、証明書類はすべてコピーでの提出で構わない。ただし場合によっては、個別に原本の提出を求めることがある。
- 開封無効の書類も、応募者自身で開封の上ポータルにアップロードすること。
- 提出書類のサイズは A4 で統一すること。
- 提出書類に不備あるいは不正があった場合、いかなる理由があろうとも応募は無効となる。
- ポータル閉鎖後の応募は、いかなる理由があろうとも受け付けない。
- 締切日当日は DAAD ポータルの混雑が予想される。例年、技術的なトラブルを含む様々な問題が発生し応募ができない者がいる。それ故、可能な限り余裕をもってポータル上での応募を完了させることを推奨する。
- 応募書類は返却されない。また、応募者のデータは応募手続きの処理に必要な限り、ドイツ連邦データ保護法ならびに EU 一般データ保護規則に則り DAAD に保管される。
- 応募に際しては、DAAD 東京事務所 HP の [よくある質問](#) も参照すること。
- DAAD ポータルの仕様についてはマニュアル ([独](#)/[英](#)) も参照すること。
- 日本語訳はあくまでも補助的な参考資料であり、原語 (ドイツ語および英語) の募集要項における内容が最優先である。原語の指示を正確に理解することも応募の条件なので、必ず原語の募集要項を参照すること。